



図書館キャラクター  
ショウワーム

自分なりの答えを発見できる場所

## 図書館へようこそ

昭和音楽大学附属図書館

図書委員長 小畑恒夫 特任教授

図書館へようこそ。

今日は何のご用？ 時間が空いたので友だちいないかなって？ あなたは楽譜を探しに？ いいね。新刊雑誌を読みに？ それもいいね。まだ図書館へ足を運んでいない人もいるのかな？

さて、図書館は何をるところだろう。調べもの？ 調べものなら図書館の重い百科事典でなくても、とりあえずスマホでできるよね。世の中とても便利になった。ニュースはネットニュースが最新だし。近頃は大きな本や長い文章を読まなくなったと言われるけれど、皆さんはどう？ 昭和音大の図書館は46,000タイトル以上の音楽ディスクを所蔵し、学生が聞けるようにしている。さらにネット上の音楽ライブラリーとも契約して、その倍以上の数のディスクをスマホや自宅のパソコンで聴けるようにしている。じゃあ図書館はいらない？

大学の図書館はアカデミックな勉強をするために必要なんだ。簡単な疑問ならSNSで尋ねても、誰かが教えてくれる時代だ。はい、ありがとう。「いいね」。「いいね」はただの印象だ。アカデミックな大学で学ぶべきは「なぜいいのか」を解明し、人に説明する方法じゃないだろうか。この演奏はなぜいいのか。人がモーツァルトに感動するのはなぜなのか。この教育法だとなぜ効果があがるのか……。大学は自分なりの答えを求めて研究し、レポートや論文を書き、納得できる演奏を仕上げ、しっかり自分のものにするところだ。そうして多くの人たちが懸命に考え、努力して発見した成果が、じつは価値あるものとして図書館で閲覧できる本や視聴できる演奏というわけだ。

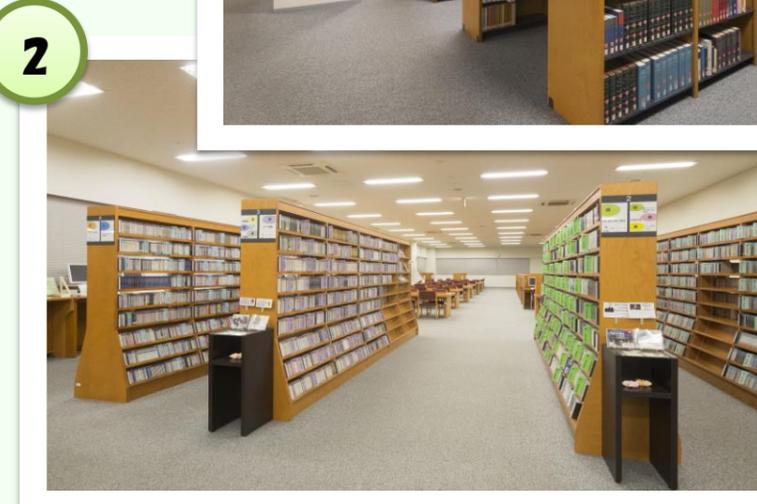
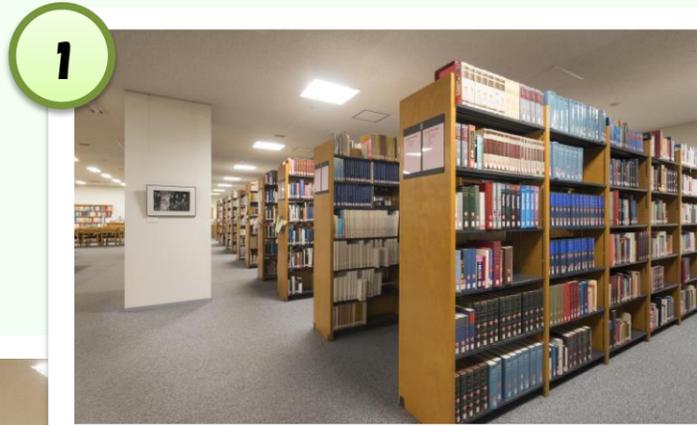
図書館に集められた本や資料の中にたくさんのヒントがある。教わるのではなく、ヒントを見つけてじっくり考え、自分なりの答えを発見できる場所——そんな図書館をどうぞ活用してください。



考える



理解する



小畑恒夫 特任教授

① 開架音楽書架

② 開架CD架